

バス停タイムス

2013年9月10日

No.15

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

大井車両基地の職場環境改善を！！

残暑お見舞い申し上げます！

大井車両基地で働くみなさん！残暑厳しい職場環境の中、日々のお仕事大変お疲れさまです！

JR東海労新幹線地本は9月3日、「職場改善諸要求」の申し入れをJR東海に行いました。99項目にわたる職場改善諸要求の中には、関係会社の労働条件に関係するものもあります。同じ大井車両基地で働く労働者として、労働条件の改善は共通の問題です。解決に向けて奮闘します。職場環境改善に向けて、共に声を出していきましょう！

もう限界だ！ 検修庫の暑さ対策を！

《 関係会社の労働条件に関わる要求は以下のとおりです(要旨) 》

- 検修庫の夏季の暑さ対策及び冬季の寒さ対策を強化すること。
- 通勤バス運行時間を改善すること。
…SMT社員の夜勤者の退勤に合わせて、庁舎前発 4:00 より早い便を新設すること。
- 庫におけるSEK作業において、7・8番線間の島デッキのスポットクーラーを使用時に客室デッキで掃除機を使用すると、電源用コンセントのNFBが落ちる。現在はSEKによるコンセントの分散使用によって応急対策をしているが、NFBの容量を大きくするなど設備上の根本的対策をすること。
- 第一検修庫と第二検修庫の作業本数について均衡化すること。

連絡先(新幹線地本) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-6-5 TEL03-3201-0350

ホームページアドレス

<http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>

メールアドレス

jrcushinkansen@yahoo.co.jp

お気軽にアクセスしてください

『復帰教育』は精神的負担！直ちに中止せよ！

8月28日、第二検修庫1番線の作業において、修繕した電車の側カウル取り付けを忘れたまま着発線まで出庫させるという事象が発生しました。この事象に対して「復帰教育」が行われました。

「復帰教育」は責任のすべてを担当者に負わせることを前提にしたものです。なぜその事象が発生したのか、その原因・要因については解明されず曖昧にされています。ソフト・ハード面はもとより、作業環境や職場風土、社員管理体制の問題などについては一切追及されていません。このような「教育」とは名ばかりの「復帰教育」は大変な精神的プレッシャーを強いるものです。直ちに中止することを強く求めます。

検修庫の屋根上転落防止柵を増設しろ！

《 直営における要求は以下の通りです（要旨・抜粋） 》

- 『復帰教育』は精神的負担となるため中止すること。
…車両所にあらたに導入された『復帰教育』は、日勤教育や試験制度の導入で精神的負担となるため直ちに中止すること。
- 交検は土・日の休日を基本とすること。
- 交番検査において、庫から庁舎までの移動時間を勤務時間内とすること。
- 庁舎7階の交検詰所が狭い状況が続いているため改善すること。
…庁舎2Fまたは3Fへの詰所の移動も含めた抜本的対策を図ること。
- 検修庫7・8・9番線における同時交番検査施行時の放送錯綜を解消すること。
…検修庫7番、8番、9番線における同時交番検査施行において、放送が錯綜するため聞き分けることに神経を使い、作業者は非常に疲労感が増している。特に番線海側のサービスデッキ上では放送が聞こえないためスピーカーを設置するなどの対策をすること。
- 検修庫の屋根上転落防止柵を増設すること。
…第一検修庫交検9番線の屋根上海側には転落防止用の柵がないため危険であり、転落防止柵を早急に設置すること。また、仕業番線のサービスデッキ側に屋根上転落防止柵を設置すること。
- 検修庫ピット内の排水対策を早期に行うこと。
…第一検修庫及び第二検修庫のピット内に水がたまり、作業上危険であるためピット内の排水対策を行なうこと。
- 第一検修庫と第二検修庫の作業本数を均衡化すること。…第一と第二申告では、本数が違いすぎるため均衡化するか第二申告の出面を増やすこと。
- 入換え本数を均衡化すること。…操縦担当者の入換え本数が大きく違う。日勤帯の入換え本数を均衡化すること。 他

これからも職場環境の改善について声を出し続けましょう！